

ほと組

— 年間目標 —

- ◎身の回りのことを自分でできるようになる
- ◎自分のしたいことや感じたことなど言葉のやりとりを楽しめるようになる

— 1学期の目標 —

- ◎新しい環境に慣れ、園での生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする
- ◎保育者に見守られながら安心して、好きな遊びを楽しむ

— 活動内容 —



すきなあそび みつけた!

(健康な心と体、自立心・道徳性、規範意識の芽生え
自然との関わり、生命尊重、豊かな感性と表現)



- ・今まで遊んでいたブロックや粘土などの遊びを繰り返したり、興味のある場にかかわったりして遊んでいる。
 - ・中には、友だちの遊んでいる様子を見て楽しんでいる子どももいた。
 - ・ダンゴムシを探したり、見つけたものを保育者や友だちに見せたり、触っていた。
- 滑り台やブランコ、三輪車で遊ぶ。保育者が間に入りながら、交代して遊ぶようになる。
- 砂遊びの中で、ままごとをしたり穴をほったりして遊ぶ。最初は一人遊びだった子どもも友だちとの交わりがでてきて、会話を楽しんでいた。

せんせいやおともだちといっしょ♪

(健康な心と体、自立心、道徳性・規範意識の芽生え、
言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)

- ・泣いて登園してくるお友だちも保育者のそばで気持ちを切り換えて過ごせるようになった。
- ・日常の身の回りにおきた出来事など、会話を楽しむようになる。
- ・保育者がおこなう手遊びや歌、リズム遊びをまねして一緒に楽しんでいた。
- ・自分のしていることを見てもらおうと保育者を呼んだり、保育者が側にいてくれることを喜んで過ごしていた。



— 1学期の反省 —

- ◎園生活に慣れ、自分のマークや物を置く場所、先生の顔を覚え、安心して落ち着いて過ごすようになってきた。
- ◎身の回りのことを自分でしようとする子どもが増えてきた。また、保育者の声掛けや手伝いをしながら、する子どももいる。
- ◎排泄面での個人差があるが、それぞれのペースで取り組んでいる。

— 2学期の目標 —

- ◎自分のしたいことをしたり、友だちと関わりながら遊びを楽しむ。
- ◎様々な行事において、期待を膨らませながら、参加する。